

すばる UM2009 議論

世話人より議論のポイントとして以下の 3 点が提示された。

- 1 公募時間の減少について
- 2 次世代ユーザー育成のための院生枠創設・プロポーザル指導について
- 3 ダウンタイムに Gemini を使うか？ (Gemini 所長が使ってはどうかと提案している)

Gemini 所長が途中退席されるため、第 3 項から議論を開始した。

1. ダウンタイムに Gemini を使うか？

SAC 委員による趣旨説明：

主焦点改造ためのダウンタイムと戦略枠のために、共同利用夜数が 2～20 夜程度しか使えないセメスタが今後発生する可能性がある。その際 Gemini から時間交換夜数を前借して使うのか、その期間は観測せずにデータ解析期間とするのか、ユーザーの意見を聞きたい。

前借に対する反対意見として下記が出された。

- ・前借することにメリットはなく、その返還のために将来のすばる時間が減ることのほうが不都合だ。
- ・観測はせずに取りためたデータで論文を書く期間にすればよい。

前借に対する積極意見としては下記が出された。

- ・ Gemini 側の装置のアップデートのタイムスケールがわからない。よい装置が使えるタイミングが合えばいいかもしれない。院生の修論、D 論のためのデータが取れないことのケアをどうするか？
- ・ ALMA の人と協力して Gemini-S を集中して使ってはどうか？

その他、共同利用時間が減った場合の方策としては以下が提案された。

- ・アーカイヴデータで論文を早急に書いた人にすばる再開後に1夜あげるなど、どうか。

- ・サービス観測だけ実施する。

また Gemini との交換夜数を増やす場合、キューモードも視野に入れることになる。
キュー観測とクラシカル観測について、以下のような意見が出された。

副所長：現在クラシカル観測による時間交換を行っている理由は、キューが嫌だからではなく、交換レートの問題が難しいからだ。

キュー観測推進意見としては、

- ・一度は Gemini-S に行ってみたいが、2 回目以降はキューのほうがよい。

- ・ Gemini-S まで行ったが天候が悪かった。キューのほうが効率がよい。

クラシカル観測廃止反対意見としては、

- ・キューのオプションをつけるのはいいが、クラシカルを希望する人もいるので、プロポーザルでどちらがいいか希望を聞いてはどうか？交換レートはキューを 0.7 掛けにすればよい。

司会者総括：

状況を見ながら Gemini との交換夜数を増やしてもよい。キューモードでの交換も視野に入れる。

2. 公募時間の減少について

SAC 委員による趣旨説明：

現状は戦略枠が共同利用時間の 25% 上限という決まりになっている。SAC 内では原則はその上限を維持すべきだという意見だが、新装置の立ち上がりに合わせて望遠鏡時間を有効に使うという戦略枠の趣旨からすれば、必要に応じて上限を緩めることも考えられる。25% を死守すべきかどうか？増やしていいのなら、何% ぐらいまで許容できるか、ユーザーの意見を聞きたい。

戦略枠を推進すべきという意見

- ・ 25%死守と言うのは根拠がない。大事なサイエンスがあるから戦略枠を始めたわけで、戦略枠が終わるまでは仕方ない。30M 時代に生き残っていくためだ。
- ・ (装置の性能を見てから決めるべきだという意見があるが) 装置の性能を含めて戦略枠の採択が決まるので、採択された以上はなるべく無制限に集中して使ってもらったほうがよい。
- ・ TMT 時代になると望遠鏡時間の獲得はより厳しくなり、国際チームによる大型プログラムが増える。日本の PI のリーダーシップを育てるという観点が大事だ。大きなポテンシャルを持ったグループが出たら、40%になってもいい。
- ・ HSC が完成したとき、(すでに走っている) 2つの戦略枠で 25%になっているので HSC サーベイができないというのは困る。戦略枠が提案されるというのはいい仕事ができる、歓迎されるべきことだろう。

個別共同利用が極端に減るのは困るという意見

- ・ すばるが競争力を保つためには時間的な余裕が必要であり、共同利用夜数が 2 夜などというのは困る。
- ・ 戦略枠を今急激に増やすのは危険な気がする。
- ・ 戦略枠のサイエンスのテーマがよければいいと思うが、戦略枠で保証するのではなく、自由競争でとってほしい。MOIRCS の GT50 夜ははねられたが、共同利用でたくさん採択されてよい観測をした。25%まではいいが、それ以上は TAC の審査を経てほしい。
- ・ 一般のプロポーザルのレベルが非常に高いので、それと比べる目を持たないとだめだ。

議論の視点について

- ・ 何が決まったことで、何が決まっていなかったかが混乱している。戦略枠をやる

ことは決まったが、同時に上限 25% と言うことも決めたはずだ。

- ・戦略枠を決めたときの議論は、(戦略枠が大事か個別共同利用が大事か)両論並立で、そのバランスの取り方が 25% ということだったが、その値はその時々
の状況で変更しうる値だという含みがあった。そのときの戦略枠提案の中身
で時間を出せるかどうかを個別に判断するべきだ。
- ・新装置ができたから戦略枠をやるのではなく、すばらしいプロポーザルだから
実施する、そこが誤解されやすい点だ。
- ・戦略枠 300 夜が採択されたとしても中間見直しがあり、打ち切りもあり得る。
終わるまで時間を保証するわけではない。

司会者総括：

今回は色々な意見が出た、ということでまとめておく。

3. 次世代ユーザー育成のための院生枠創設・プロポーザル指導について

SAC 委員による趣旨説明：

共同利用のユーザーが特定の人・グループに集中しているのではないか？という
意見が SAC 内で出た。今後の若い人たちの利用を促進するという意味でセメ
スタあたり 10 夜を院生枠として確保してはどうか。また、採択される院生は国
立天文台スタッフに指導されている人が多いので、国立天文台スタッフが地方
大学でプロポーザルの書き方を指導してはどうかという提案だ。

院生枠反対意見

- ・世界はもっと厳しい。傑出した成果がどれだけ出るかで決めるべきだ。
- ・学生保護というのは望遠鏡時間が少なくなるこの時期になじまない。
- ・我々にはすばるしかないのだから、慎重になったほうがいい。
- ・学生が最初からすばるにプロポーザルを出す必要はない。まず岡山や Kit
Peak に出すべきだ。院生枠を作らずに TAC 審査でバイアスかけることもで

きる。

- ・今までも学位論文に関係ありという欄にチェックを入れると考慮してもらえたのではないかとその程度のほうが健全だ。普通に競争したら通らないプロポーザルを通すのは健全ではない。
- ・院生枠よりは「院生だったらプロポーザルは日本語でいい」というほうが有効だ。天文学も英語もきちんと勉強しなければならないのは大変だ。野辺山のプロポーザルは日本語でよい。

院生枠賛成意見

- ・試行してみてはどうか。
- ・地方の大学からも応募しやすいように、夜数を設定せずに院生枠という名前だけ用意してはどうか。

院生枠とは別の手立てを講じるべきという意見

- ・研究グループ内の院生を形だけPIにしても意味がない。それよりは今まで関連したサイエンスが行われていない提案、「新規枠」のほうがいい。
- ・若手育成のためなら、学生数に応じて大学ごとに夜数を割り当てるとか、光赤外の教員がいない大学に教員を派遣する、あるいは支援枠を設ける等が考えられる。
- ・院生枠というよりも、学位論文を書くために継続的に面倒をみてほしい。継続提案を考慮してほしい。

プロポーザルの指導について

- ・国立天文台スタッフによる出張指導は、より国立天文台への集中を加速するだけではないか？それよりもコミュニティに刺激を与えることが大事だ。UMや光天連シンポに幅広い大学の人を呼んで常時情報をインプットすることが必要だ。

- ・プロポーザルの指導にはほとんど意味を感じない。裾野を広げるためにはポジションを取ることが必要だ。また、すばるのひとつ下の装置が無いことが問題だ。すばるを使うのは本当に難しい。
- ・他分野の人もプロポーザルについて相談できる窓口があるとよい。

院生側からの意見

- ・理論をやっているのでプロポーザルを出すのは敷居が高い。装置の説明がほしい。
- ・院生枠提案は院生に経験を積ませるという意味だと思うが、一番の解決法は2M くらいの望遠鏡があるとよい。

院生意見に対する参考意見

- ・京大も東大も中間の大きさの望遠鏡を作ろうとしているが、なかなか大変で時間がかかっている。
- ・学術会議で長期展望をまとめた際、いろいろな大学の人の意見を伺ったが、情報格差が大きいとのことだった。すばるでこんなことができる、ということが簡単にウェブで見られれば、プロポーザルを出しやすくなるだろう。採択提案について観測タイトルのほかに2-3行ずつウェブに書いてあったりするとよい。
⇒副所長：検討します。
- ・中間の4M 望遠鏡が日本にないということだが、NOAO は比較的プロポーザルが通りやすい。旅費がネックになるので、旅費を出してもらうことはできないか？

TAC 委員からのコメント

- ・院生が何夜使っているかの分析をした上で、院生採択の数値目標を示してほしい。

司会者総括：

今回は積極的に院生枠を作ることはせず、審査で裁量してほしいというまとめになった。